

平成28年度(2016年度)

管理事業名			男女共同参画事業			総合計画の体系		第1章 第3節		すべての人がいきいき輝くまちづくり 男女共同参画のまちづくり					
主な歳出 予算科目		一般会計		(款)	2	総務費		(項)	1	総務管理費		(目)	24	男女共同参画費	
部局名		市民部		予算執行所属		男女共同参画室、男女共同参画センター									
予算大事業名 男女共同参画事業 DV防止対策事業ほか				上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)ダブルリボンプロジェクト基金積立金 ダブルリボンプロジェクト基金積立事業											
事業の目的と概要 ・男女共同参画事業は、男女共同参画推進条例に基づく具体的な行動計画である「すいた男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画のまちを実現するために、第3次すいた男女共同参画プランでは、6つの基本方向、27の基本課題を設定し、基本課題ごとに具体的な取組と事業を実施しています。 男女共同参画推進の拠点施設である吹田市立男女共同参画センターの事業は次のとおりです。 ①講座、研修会等の開催 ②啓発 ③市民の活動及び交流の支援 ④情報の収集及び提供 ⑤相談 ⑥調査研究の6つの事業を実施しています。 ・DV防止対策事業は、Wリボンプロジェクト、若年層への出前授業、パンフレット等による啓発、カウンセラーによるDV相談など総合的な事業を実施しています。															

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
主催講座等参加人数	人	4,801	6,395	5,867	男女共同参画センターの主催講座等における延べ参加人数
ダブルリボン(基金)への歳入額	円	1,465,331	2,273,825	2,809,355	指定寄附金及びWリボンバッジ販売料等の額
成果の説明	・男女共同参画社会の実現に向けて様々な講座を開催しました。若年層からの啓発が大切だという思いから学生向け講座の取り組みも進めています。 ・Wリボンプロジェクトとして様々な啓発イベントを行い、事業者等からの寄附金及びWリボンバッジの売上金の一部等をダブルリボンプロジェクト基金に積み立てました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	差額
		A	B	B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	3,666	3,334	3,107	△226
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	1,214	2,085	1,477	△608
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	2	3	0	△3
その他	920	859	1,272	413
経常収入 小計(a)	5,802	6,281	5,856	△425
給与関係費	99,266	98,891	99,091	200
物件費	30,367	32,211	33,067	856
維持補修費	1,902	3,148	2,696	△452
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	10,200	9,707	7,275	△2,432
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	11,034	11,034	11,034	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	6,513	6,683	6,798	115
退職手当引当金繰入額	4,845	4,486	6,088	1,601
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	164,127	166,160	166,048	△112
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△158,325	△159,879	△160,192	△313
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△158,325	△159,879	△160,192	△313
一般財源充当額	149,661	153,282	151,498	△1,783
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△8,663	△6,597	△8,694	△2,097

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
寄附金	ダブルリボンプロジェクト基金指定寄附金 1,477千円(608千円の減)
その他(経常収入)	電話加入権過年度遡及登録に伴う損益修正益 508千円
負担金・補助金・交付金等	男女共同参画センター主催講座の講師等謝礼 7,183千円が5,328千円に減少しました。その主な理由は、電話相談業務を委託したことによる874千円の減額です。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	差額
		A	B	B-A
行政サービス活動収入	5,802	6,281	5,348	△933
行政サービス活動支出	155,792	159,289	156,037	△3,252
行政サービス活動収支差額	△149,989	△153,008	△150,689	2,319
投資活動収入	1,793	2,000	2,000	-
投資活動支出	1,465	2,274	2,809	536
投資活動収支差額	328	△274	△809	△536
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△149,661	△153,282	△151,498	1,783
一般財源充当額	149,661	153,282	151,498	△1,783
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動収入) ダブルリボンプロジェクト基金から2,000千円取崩し、DV防止対策事業の一部に充当しました。 (投資活動支出) 指定寄附金、Wリボンバッジ利益分、預金利子、前年度繰戻分2,809千円をダブルリボンプロジェクト基金に積み立てました。
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民一人当たりにかかるコスト	平成26年度	362,899 人	452 円	市民一人当たり449円のコストがかかっています。前年度より3円減少しました。 講座講師等謝礼に係る報償費(負担金・補助金・交付金等)が減少したことが主な要因です。
	平成27年度	367,510 人	452 円	
	平成28年度	369,522 人	449 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	6,683	6,798	115
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	6,683	6,798	115
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	304,977	293,951	△11,026	固定負債	78,016	76,878	△1,138
土地	71,593	71,593	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	233,385	222,358	△11,026	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	78,016	76,878	△1,138
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	47	547	500	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	84,698	83,675	△1,023
重要物品	3,000	3,000	-	純資産	234,272	225,578	△8,694
図書館資料	-	-	-	固定資産	-	-	-
投資その他の資産	10,946	11,755	809	出資金	-	-	-
基金	10,946	11,755	809	長期貸付金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	基金	-	-	-
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	318,971	309,253	△9,717
資産の部合計	318,971	309,253	△9,717				

Ⅲ 財務構造分析

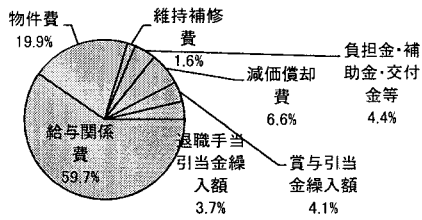
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数
事業従事人数	11人	3人	767日	28人
給与関係費等	92,905千円	11,964千円	6,141千円	966千円
内、時間外勤務手当	1,505千円			
				合計(千円) 111,976

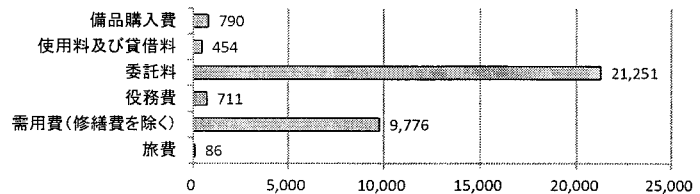
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	吹田市立男女共同参画センター 建物 減価償却により11,026千円の減
無形固定資産	電話加入権 508千円の増 Wリボン商標権 減価償却により8千円の減
基金	ダブルリボンプロジェクト基金からDV防止対策事業の一部に充当するため2,000千円の取崩し減、指定寄附金、Wリボンパッジ利益分、預金利子、前年度繰戻分の積立による2,809千円の増

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立男女共同参画センター
取得年月日	昭和62年(1987年)5月1日
建物・工作物の取得価額	551,302 千円
建物・工作物の減価償却累計額	328,944 千円
利用料金収入	3,107 千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.3	0.6	0.5	△0.1
施設老朽化比率		55.7	57.7	59.7	2.0
受益者負担比率		2.2	2.0	1.9	△0.1
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		95.2	94.9	95.4	0.5
経常費用対公共資産比率		29.8	30.1	30.1	0.0

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常収入の5,856千円の内訳は、3,107千円が男女共同参画センター使用料、1,477千円がダブルリボンプロジェクト基金指定寄附金です。経常経費の主なものにつきましては、給与関係費99,091千円(59.7%)、物件費33,067千円(19.9%)、減価償却費11,034千円(6.6%)となっています。また、男女共同参画センターは、減価償却により資産(建物)が減少しています。維持補修費比率は前年度より0.1ポイント減少していますが、老朽化比率59.7%で、市保有施設全体の老朽化比率53.9%と比較すると、5.8ポイント老化が進行している施設です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

・ダブルリボンプロジェクト基金繰入金とダブルリボンプロジェクト基金積立金の収支バランスを考慮しながら、DVや児童虐待防止のため効果的な事業を展開していく必要があります。

・男女共同参画センターは、男女共同参画推進の拠点施設として、また、市民の活動や交流の場として、大勢の方に利用してもらえるよう貸館業務や多彩な講座、相談事業等を、今後も実施していく必要があります。しかし、老朽化した施設の維持管理に係る維持補修費や施設管理に係る委託料がコスト増加の主な要因になっており、これらの課題については、施設の最適化と併せて検討する必要があります。今後も修繕計画や事業の見直しを行うことで、経常経費を抑えるよう努めていく必要があります。